

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)秦野市南矢名2丁目計画新築工事	階数	地上10F
建設地	秦野市南矢名2丁目5-4 ほか 6筆	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	149 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2022年12月27日
敷地面積	1,337 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	502 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月27日
延床面積	3,471 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
省エネルギーに配慮した快適な室温環境を整えられるよう努めた。		
<b>Q1 室内環境</b> 断熱性能を平成28年基準による省エネルギー対策等級4とし、外皮性能に配慮。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建築設備に伴う排熱の位置等に配慮し、敷地内歩行者空間等の温熱環境を緩和した。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能を省エネルギー対策等級4相当で省エネルギーに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐輪場を設置して交通負荷抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される